

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

農地を集約し、土地柄に合った新しい農作物を模索				熊本県八代市 八代南部地区	
農業を担う者数 （うち担い手）	615経営体	農地面積 （うち農振農用地）	1,646.5ha	主な農畜産物	水稻・トマト・晩白 柚・ブロッコリー
農業地域類型	都市的地域	遊休農地	0.06ha	現状の集積率 （目標）	集計中

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・八代市の農業就業人口が平成12年から令和2年で約半減（11,608人⇒5,810人）し、年齢別でも60歳以上が全体の約57%を占め、農業者の減少と高齢化が喫緊の課題であり、遊休農地の更なる増加が懸念される。 ・持続的な農地の利用を図り、地域の活性化を進めるため、新規就農者の確保・育成し、地域全体の農地利用の仕組みを構築しつつ、新規高収益作物を検討する必要がある。 	・高収益作物等の導入等を検討し、地区独自の農産物のブランド化に取り組み、農業所得の向上を図る。 ・収益性の高い新規作物の導入を行政、JAが一体となって取り組み、魅力ある農業を目指す。 ・農地を集約し、土地柄に合った新しい農作物を模索。 ・農業生産効率の向上、農地集積・集約化を図るため、大型機械等の共同購入及び共同利用等による整理・合理化に取り組む。 ・農地の環境保全のため、地域一体となって取り組む。

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
・協議の場を設置し、地域の代表者や関係機関等と今後の地域農業の将来等について話し合いを行っており、大きな課題はない。 ・多くの集落をまとめ広域での地域計画の策定を予定しているため、今後策定予定地区の中で話し合い等における温度差が生まれてしまうのではないかという懸念があり、調整が必要だと考えている。	取組内容 ・令和5年4月～6月 人・農地プランの集落ごとに協議の場を開催 ・令和5年7月7日に関係機関等を参集して農地集積推進チーム会議を開催 ・令和5年7月14日に協議の場の結果を公表 ・令和6年6月に移行調査、目標地図の素案作成 今後の予定 ・令和6年9月に目標地図素案完成 ・令和6年10月に関係機関等を参集して農地集積推進チーム会議を開催 ・令和7年3月に地域計画の策定